

ひもときシート

グループE
発表

様

①課題の整理 I あなた（援助者）が感じている課題

事例に上げた課題に対して、あなた自身が困っていること、負担に感じていることを具体的に書いて下さい。

- ・日中・夜間思い通りにならないと声を荒げたり、物にあたったり、唾を吐いたりする。
- ・夜間、排泄が頻回で眠れず周りの音や声に暴言を吐く。

②課題の整理 II あなた（援助者）が考える対応方法

①あなたは本人にどんな「姿」や「状態」になってほしいですか。

- ・他者と交流を持ちながら穏やかに生活してほしい。
- ・夜間良眠してほしい。

②そのために、当面どのようなことに取り組んでいこうと考えていますか？あるいは、取り組んでいますか。

- ・日中の活動量を増やして生活リズムを整える。
- ・唾や痰を出す際のティッシュやゴミ袋を手元に用意する。
- ・職員と個別に関わる時間を作る。
- ・医務と連携して眠剤を検討する。

(1) 病気の影響や、飲んでいる薬の副作用について考えてみましょう。

- ☆認知症
- ・腰椎圧迫骨折
 - ・定期薬ナシ
 - ・不眠時ベルソムラ

(4) 音・光・味・におい・寒暖等の5感への刺激や、苦痛を与えていそうな環境について、考えてみましょう。

- ・間隔過敏になり小さな音にも反応する。
- ・居室の扉を閉めると寂しさや孤独感がある。

(6) 住まい・器具・物品等の物的環境により生じる居心地の悪さや影響について考えてみましょう。

- ・居室の扉を閉めると閉鎖的に感じられている。

(2) 身体的痛み、便秘、不眠、空腹などの不調による影響を考えてみましょう。

- ・時々食事を残されたり便秘や頻尿が見られる。
- ・夜間の不眠が他者へのいら立ちに繋がっていると考えられる。

③課題に関連しそうな本人の言葉や行動を書き出してみましょう

あなたが困っている場面（Aに記載した内容）で、本人が口にしてきた言葉、表情やしぐさ、行動等をありのままに書いてください。

- ・「うるさい」「黙れ」「やかましい」「助けて」「まーだかい」
- ・ポータブルの蓋を叩く

(7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティ（活動）とのズレについて考えてみましょう。

高齢でもあり、寝ていることが多いが、生活歴から考えると、軽作業やレクなどが好きではないか。

(3) 悲しみ・怒り・寂しさなどの精神的苦痛や性格等の心理的背景による影響を考えて見ましょう。

- ・家に帰りたい気持ちや寂しさから相手に気付いてほしい不安の表れ。

(5) 家族や援助者など、周囲の人のかわり方や態度による影響を考えてみましょう。

- ・優しい言葉を掛けると笑顔が見られ穏やかになる。
- ・他者交流が足りない。

(8) 生活歴・習慣・なじみのある暮らし方と現状とのズレについて考えてみましょう。

- ・施設に入所したことにより人との関わりや自分の役割がなくなった。
- ・本人の力を発揮する場所がなくなり生活意欲が低下した。

④課題の背景や原因を整理してみましょう

思考展開エリアに記入した内容を使って、この課題の背景や原因を本人の立場から考えてみましょう。

- ・呼んだらすぐに対応してほしいけど来てくれない
- ・寂しがりで他者との関わりが好きかと思えるが少ない

⑤「A課題の整理 I」に書いた課題を本人の立場から考えてみましょう

「D課題の背景や原因の整理」を踏まえて、あなたが困っている場面で、本人自身の「困り事」「悩み」「求めていること」は、どのようなことだと思いますか。

- ・他者と交流を多く持ちたい
- ・役割が欲しい

⑥本人にとっての課題解決に向けてできそうなことをいくつか書いてみましょう

このワークシートを通じて気付いた本人の気持ちにそって⑦今できそうなことや⑧試せそうなこと⑨再度の事実確認が必要なことをいくつか書いてみましょう。

- ⑦ラジオの設置（昔の習慣）
ゴミ袋、ティッシュの設置
軽作業を勧め日中の活動量を増やす
他利用者と会話の架け橋をする
- ⑧売店に参加する
昔馴染みの本や写真を見てもらう
編み物を試してみる
食事席を職員の側に配置する